

江漢
馬嶺
畫

風景画の生まれるとき。



司馬江漢《七里ヶ浜図》部分図 江戸時代後期 大和文華館 ※半期の展示

2022
8.20(土) ≧ 10.16(日)

[休館日] 月曜日(祝日の9月19日、10月10日は開館)
[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
[観覧料] 一般1,200円(団体960円)
大学生900円(団体720円)

※()内は、20名以上の団体料金。18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。下関市内在住の65歳以上の方は半額。

下関市立美術館
Shimonoseki City Art Museum

〒752-0986 下関市長府黒門東町1-1
Tel.083-245-4131
<https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/>

[主催] 下関市立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口
[協力] 兵庫県立美術館 [協賛] 山口県総合芸術文化祭 2022

特別展

山水画と 風景画のあいだ —真景図の近代

高橋由一《琴平山遠望図》明治14年(1881) 金刀比羅宮

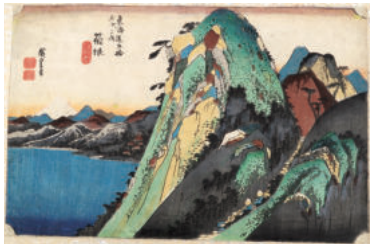




田能村竹田《青緑説法山水図巻》部分図 江戸時代(19世紀前半) 福岡市美術館



宋紫石《富嶽図》※
安永5年(1776) 大和文華館



歌川広重《東海道五十三次之内 箱根湖水図》
天保4-5年(1833-34) 個人蔵



川原慶賀《長崎港図》
江戸時代(19世紀前半) 広島県立歴史博物館



浅井忠《農家(日傘のある風景)》
明治28年(1895)頃 公益財団法人ウッドワン美術館



川合玉堂《松山遠嶺》※大正6-7年(1917-18)頃 蘭島閣美術館

[表図背面] 狩野芳崖《馬関真景図巻》部分図 天保13年(1842) 個人蔵(下関市立美術館寄託)
※は半期の展示

主な出品作家

亜欧堂田善、浦上玉堂、頼山陽、田能村直入、五雲亭貞秀、ワグマン、小田海僊、高島北海、松林桂月、小林清親、吉田博、横山大観、菱田春草、竹内栖鳳、富田溪仙、吉田初三郎、和田英作、岸田劉生、藤田嗣治、川瀬巴水 ほか

新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。

[次に該当するお客様は、入館をご遠慮ください]

- ・発熱のある方
- ・咳、咽頭痛などの症状がある方
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国、または地域への訪問歴がある方

[館内では、以下にご協力ください]

- ・検温
- ・入館票(氏名・お電話番号)の記入
- ・マスクの着用
- ・手指の消毒
- ・他のお客様との距離(2m程度)を保つ
- ・会話は必要最小限に

下関市立美術館 Shimonoseki City Art Museum
〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1
Tel. 083-245-4131
https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/

山水画と風景画のあいだ——真景図の近代

誰もきれいな風景画を見ると心がなごみます。しかし、私たちが思い浮かべるような風景画が描かれるようになるのは、近代になってからであり、長らく中国からもたらされた山水画こそが美術の主流でした。本展では、18世紀末から20世紀初頭の日本の風景表現のうつり変わりを通して、日本人の風景を見る眼がいかに確立してきたのかをたどります。

なかなか外出が難しい昨今、今よりも旅が困難であった時代の人々が魅了された美しい日本の風景を、旅をするような気分楽しんでいただきたいと思います。

山水画・文人画・洋風画・浮世絵・日本画・洋画などジャンル・流派を越えて、所蔵品約25点を含めた約100点の作品を展覧します。

宮下規久朗連続講演会「風景画の東西」

[講師] 宮下 規久朗 氏(美術史家・神戸大学大学院人文学研究科教授)

(1) 8月27日(土) 西洋の風景画の成立と展開

(2) 8月28日(日) 東洋と現代の自然表現

要事前申込・先着順。下関市立美術館(Tel.083-245-4131)まで「1.参加日、2.氏名、3.連絡先」をお伝え下さい。聴講無料。ただし当日の観覧受付が必要です。詳しくは美術館ホームページをご覧ください。

交通案内



▼バス(サンデン交通)

- ・JR 下関駅 から(約20分)
長府・小月・宇部方面行き「市立美術館前」下車すぐ
- ・JR 新下関駅 から(約25分)
「関門医療センター」経由「マリナランド」または「下関駅」行きで「松原」下車、徒歩3分
- ・JR 長府駅 から(約15分)
「長府駅」または「長府駅前」バス停から「下関駅」または「市民病院」行き「市立美術館前」下車すぐ

▼自動車

中国自動車道・下関インターチェンジから「壇ノ浦」方面に進み、国道9号線合流点を左折して約5キロ